

新規就農を地域でサポートする体制の事例③

あいち三河農業協同組合（愛知県）

品目：施設いちご

就農相談体制の整備

研修農場の整備

先輩農業者等による技術面等のサポート

概要

- JAあいち三河が管轄する岡崎市・幸田町は、施設イチゴの産地。将来、担い手の減少が見込まれたことから、JA組織と行政が一体となった「産地活性化プロジェクトチーム」を結成し、産地戦略を策定。その一環として、新規就農者受入体制「いちご塾」の整備を進め、新規就農者の育成・確保を図っている。
- 令和5年度にサポート体制構築事業を活用して、いちごの研修用ハウス、出荷調整実習室を整備。

サポート体制

JAあいち三河「『いちご』産地活性化プロジェクトチーム」

岡崎市いちご部会、幸田町いちご組合

JAあいち三河（事務局）、JA愛知中央会、JAあいち経済連、（株）アグリみかわ、愛知県（農政課、農業改良普及課、西三河農林水産事務所）で構成。

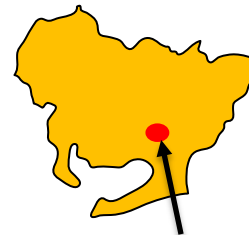
- ① JAあいち三河「新規就農サポートセンター」
研修生の募集、研修カリキュラムの作成・調整、
就農前後のフォローを実施。
- ② 岡崎市いちご部会、幸田町いちご組合
部会員であるいちご生産者の圃場を研修の場として提供するほか、JAの研修農場での栽培技術の指導や講義、出荷指導などを実施。
- ③ 愛知県農業改良普及課、JAあいち経済連
いちごの生理生態・経営面の講義などを担当。
- ④ 岡崎市、幸田町
就農準備等を支援。
- ⑤ 愛知県立農業大学校
就農希望者向けの基礎的な研修を実施

サポート体制

【担当機関】 【役割】

- ① 全体を包括支援
- ② 研修の場の提供、技術指導
- ③ 生理生態・経営面の講義
- ④ 就農準備等の支援
- ⑤ 基礎的研修の実施

位置図



愛知県岡崎市、幸田町



【研修の様子】

取組内容

(1) 就農相談体制の整備

- ・ JAあいち三河の職員3名を就農相談員として配置。
- ・ 研修生の農地の希望条件を把握し、地域の農業者や地権者と交渉、農地を確保。青年等就農計画の策定支援、住居等の生活面もサポート。

(2) 研修農場「いちご塾」の実施

- ・ JAの営農企画課の職員を常勤指導者として配置。
- ・ 4～8月：指導農家の元での基礎研修。
9～翌6月：研修農場での実践経営栽培研修。
並行して県農大で農業全般の基礎知識を習得。
JA座学研修でいちごに特化した知識を習得。

(3) 先輩農業者による技術面のサポート

- ・ ベテラン農家10名が通年で栽培指導を実施

(4) 取組の発展

- ・ 令和5年度に本事業を活用し、イチゴ研修ハウスを整備。リースによる初期投資軽減を見込む。